

新スポーツセンター基本計画検討会(第1回)

議事要旨

【開催概要】

日時:令和7年9月12日(金)午前9時30分～午前11時30分

場所:千代田区役所本庁舎4階403会議室

委員長: 早稲田大学 スポーツ科学学院 教授 木村 和彦

委員: 千代田区スポーツ推進委員 植田 浩敏

千代田区スポーツ協会 菅野 豊

千代田区健康づくり推進員 荘 絵里子

千代田区障害者共助会 鈴木 やす代

区立スポーツセンター避難所運営協議会 田熊 清徳

千代田区青少年委員 中村 あけみ

オブザーバー: ミズノ株式会社(指定管理者) 2名

事務局: 地域振興部生涯学習・スポーツ課 4名

【次第】

1 開会

2 委員自己紹介

3 委員長の選出

4 議題

(1)スケジュール

(2)基本構想の振り返り

(3)合同整備の方針について

(4)現施設の機能と規模、利用率の確認

(5)その他

5 事務連絡

今後の予定

6 閉会

【資料】

資料1 新スポーツセンター基本計画検討会 委員名簿

資料2 新スポーツセンター基本計画検討会設置要綱

資料3 第1回新スポーツセンター基本計画検討会資料

【議事要旨】

1 開会

傍聴者が 2 名であることを確認。

(1)委嘱状交付

(2)本検討会の目的

2 委員自己紹介

3 委員長の選出

(1)委員長の選出

●事務局

資料2「新スポーツセンター基本計画検討会設置要綱」に基づき選出

・委員の互選により、早稲田大学 スポーツ科学学術院 教授 木村 和彦委員が委員長に選出された。

・委員長の指名により、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、千代田区スポーツ協会 菅野 豊委員が委員長の職務を代理することとなった。

(2)会議の公開・非公開について

◎委員長

区が開催する会議については、原則、公開だが、非公開とすることが相当と考えられる議題を取り扱う場合は、検討会において一部非公開とする決定をすることでよいか。

○委員全員

異議なし

4 議題

(1)スケジュール

(2)基本構想の振り返り

●事務局

スケジュールや基本構想の振り返りについて資料3に基づき説明。

◎委員長

「(2)基本構想の振り返り」の議題について説明があったが、いかがか。

○A委員

コンセプトでは、単なるスポーツセンターではなく、スポーツの中核施設となることが掲げられているため、伝統文化を発信する役割も担えるとよい。スポーツの文化・歴史を発信でき、この場所が鎌倉河岸であった歴史の記録が残る、メモリアル機能を備えてほしい。今後、近隣に、観光船も着ける鎌倉河岸船着場ができる予定だが、江戸期の鎌倉河岸だけでなく、近代の歴史も含めPRできる発信施設となるとよい。

○B委員

基本構想は、障害者にも目を向けている内容で良いと思う。障害者も楽しめる新しいスポーツが行えるとよい。また、通常、生涯学習館で開催されている知的障害者を対象とした日曜青年教室について、年1回の茶道教室や料理教室はスポーツセンターで実施されている。また、川沿いに桜を植えたりしてランニングコースとし、障害者に向けた短いマラソン大会などが行えたらよいと考えている。障害者が健常者と一緒になにかをすることが、障害者への理解につながると考える。

◎委員長

拡充したい機能は、第3回検討会で取り上げる予定の導入機能についての議題にて再度ご意見をいただきたい。

(3)合同整備の方針について

- 事務局 合同整備の方針について、資料3に基づき説明。
- ◎委員長 「(3)合同整備の方針」の議題について説明があったが、いかがか。
- C委員 私の所属する団体としては、現地での建て替えには、建て替え中の空白期間をどうするのかという課題もあり、最初は反対の意見を述べていたが、千代田区というのはそれほど資源があるわけではないので、致し方なく了承した経緯である。ただ、それと引き換えに、今の規模では思うようなスポーツ競技の大会が開催できないと、区に説明してきた。これからも、観客を動員してVリーグやBリーグを誘致するという事はなかなか難しいと思うが、まずは区民の皆さまに愛される施設として、きちんとした施設となるよう要望していきたい。ひとまず合同整備の方向性での検討が進んでいることについて、御礼申し上げる。
- D委員 公共施設以外にも、敷地の東側にある近隣エリアが合同整備に入る可能性はあるのか。
- 事務局 当該エリアには、民間の土地・建物があるが、合同整備に入る計画ではない。企業の経営戦略なども関わってくると考えるが、合築計画に入れるということになると、新スポーツセンターの整備のスケジュールに大幅な影響が出ると考えられる。
- A委員 対象敷地内にある内神田鎌倉町会の防災機材倉庫はどうなるか。
- 事務局 今後、町会と相談させていただく。
- (4)現施設の機能と規模、利用率の確認について
- 事務局 現施設の機能と規模、利用率の確認について、資料3に基づき説明。
現施設の各機能の規模について、ご意見を伺いたい。
- C委員 私が所属する団体の立場としては、各競技団体の希望には添いたいと思っているが、満額回答というのはどうしても難しい面があると思う。お互いに協力し協調して融通し合って施設を使っていくことが重要だと考えており、特定の団体の希望が偏る施設ではなくバランスが大切である。
「令和7年度アンケート結果」については各競技団体の意見も入っているか。
- 事務局 基本構想のホームページ掲載と併せてホームページ上で実施したアンケートで、特に加盟団体に限定したものでなく、区民や在勤者など幅広い方からの意見である。
各施設への個別の要望も混ざっているが、施設が新しく大きくなるとはいっても上限があるため、ご意見をいただいたとおり、融通しながら決めていくことが非常に重要と考える。
- C委員 資料の取り扱いについては、留意いただきたい。
新施設の規模については、現施設の利用率やこれまでの利用状況など、複数の面から考慮する必要がある。
- C委員 ゴルフレンジなど音が響くものは、近隣への配慮が必要である。
- E委員 料理教室について、部屋の面積が広いのに利用率が低く、果たしてスポーツセンターに料理教室が必要なのか改めて検討が必要であると考え。各出張所にも、料理教室を行うような調理室があると思われ、あえてスポーツセンターになくても

よいかもしれない。広さや、ガス・電気の設備費とその維持費がかかることを考慮する必要がある。

○B委員 料理教室については、日曜青年教室で何回か使用したが、他の出張所に比べてここが一番広いし、近くにスーパーマーケットがあり調達に便利だという利点もある。広くてランニングコストも大変だろうが、日曜青年教室の方とも調整してほしい。

○A委員 集会室 C は神竜会議室と呼ばれているところで、まさに神竜小学校を引き継いだもので、地元の方々から残すようにと意見が出てくると思う。メモリアル機能、ミュージアムコーナーを整備するとよい。団体利用の方かプログラム利用の方しか入れない会議室名でのみ残すよりも、誰でも触れられるようなメモリアル機能のようなものができればよいと思う。

○A委員 避難所機能を検討するにあたっては、主競技場だけに限定する必要はないと思う。神田公園地区の避難所に行く人口は 3,000 人くらいであり、13%の 350 人という想定もあるが、マンションの方もいるためもう少し少なくなると思われる。初期の避難所開設としては柔道場が良いと考えているが、防災機材が近いところに配置されていた方がよい。千代田区の場合、避難所に避難する方は少なくなると考えると、柔道場だけで足りるのではないかと思う。

●事務局 災害対策課と連携し、検討する。

○D委員 複数の競技で併用している部屋は、部屋ごとではなく競技ごとの利用率内訳を知りたい。

オブザーバー 競技ごとの利用率の算出は、一定程度可能であると思われる。

○F委員 利用率が公開されると、数字だけで機能の要否の意見が出てしまうことが懸念されるため、取り扱いには注意が必要。

○C委員 生涯学習施設の料理教室は、数値としては利用率が低いが、食とスポーツをリンクさせた複合的な施設となることで、施設の魅力が増すこともある。

○A委員 料理教室をスポーツとリンクさせるのであれば、オープンスペースの一角として開放的に整備するようなアイデアもある。

◎委員長 生涯学習施設について、新スポーツセンターと一体とするか、区全体の需要と供給を鑑みて切り離すかなど検討していく必要がある。

◎委員長 本日の意見を踏まえ、委員長と事務局で整理をしていく。

(5)その他

◎委員長 事業方式について方向性等を議題で取り扱いいただきたい。

●事務局 いずれかの機会にご案内する。

5 事務連絡

●事務局 第 2 回検討会は 10 月の中旬から下旬頃の開催予定。

6 閉会

以上